最近の経済情勢について

産業労働部産業政策課

I 世界

月例経済報告 [平成 27 年 6 月 (H27. 6. 15 内閣府)]

- 世界の景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。
- 先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、アメリカの金融政策正常化に向けた動きの影響、ヨーロッパ、中国やその他新興国経済の先行き、原油価格下落の影響、地政学的リスク等について留意する必要がある。

【米 国】 ~ 実質 GDP 2015 年 1-3 月期 前期比年率△0.7% ~

- ・ 景気はこのところ弱めの動きもみられるが、回復が続いている。
- 先行きについては、回復が続くと見込まれる。
- ・ ただし、金融政策正常化に向けた動きの影響、原油価格下落の影響、ドル高の影響等に 留意する必要がある。

【欧州】 ~ 実質 GDP 2015 年 1-3 月期 前期比年率+1.5% ~

- ユーロ圏では、景気は持ち直している。
- 先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。
- ・ ただし、政府債務問題等への対応やその影響、失業率や物価の動向、地政学的リスクの 影響に留意する必要がある。

【アジア】

(中 国) ~ 実質 GDP 2015 年 1-3 月期 前年同期比+7.0% ~

- 景気の拡大テンポは一段と緩やかになっている。
- 先行きについては、緩やかな拡大傾向が続くと期待される。
- ・ ただし、不動産価格や金融市場の動向等によっては、景気が下振れするリスクがある。

(韓 国) ~ 実質 GDP 2015 年 1-3 月期 前期比年率+3.3% ~

景気は減速している。

(台 湾) ~ 実質 GDP 2015 年 1-3 月期 前期比年率+2.7% ~

景気はやや減速している。

(インド) ~ 実質 GDP 2015 年 1-3 月期 前年同期比+7.5% ~

景気は持ち直している。

【ASEAN地域(インドネシア、タイ、マレーシア、シンガポール)】

(インドネシカ) ~ 実質 GDP 2015 年 1-3 月期 前年同期比+4.7% ~

景気はやや減速している。

(タ イ) ~ 実質 GDP 2015 年 1-3 月期 前年同期比+3.0% ~

景気は下げ止まりつつあるものの、一部に弱い動きもみられる。

Ⅱ 日 本 ~ 実質 GDP 2015 年 1-3 月期 前期比年率+3.9% ~

月例経済報告 [平成 27 年 6 月 (H27. 6. 15 内閣府)]

「景気は、緩やかな回復基調が続いている。」

- ・ 個人消費は、持ち直しの兆しがみられる。
- ・ 設備投資は、このところ持ち直しの動きがみられる。
- 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、このところ一部に弱さがみられるものの、持ち直している。
- ・ 企業収益は、総じて改善傾向にある。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっているが、一部 に改善の兆しもみられる。
- 雇用情勢は、改善傾向にある。
- 消費者物価は、緩やかに上昇している。

先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、原油価格下落の影響や各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意する必要がある。

四半期別実質GDP成長率(H27.6.8 内閣府)

(単位:%)

	H26. 1−3 月期	4-6 月期	7-9 月期	10-12 月期	H27. 1-3 月期 ※2 次速報値
季節調整済前期比	1. 1	△1. 7	△0.5	0.3	1.0
年率換算	4. 4	△6.8	△2. 0	1. 2	3. 9

Ⅲ 長野県

1 長野県の金融経済動向(H27.7.1日本銀行松本支店)

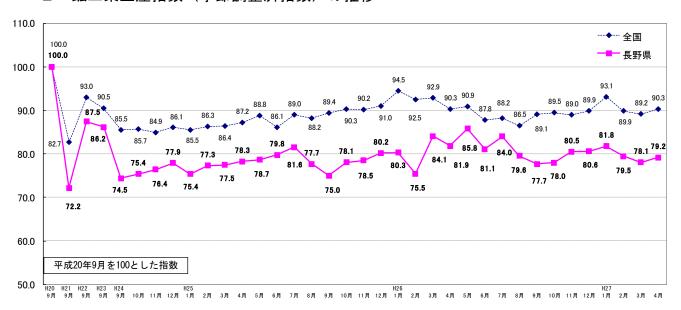
長野県経済は、生産の一部になお弱さを残しつつも、緩やかに回復しつつある。

最終需要の動向をみると、公共投資は高水準ながら緩やかな減少傾向となっている。一方、住宅投資は底堅く推移している。この間、設備投資は緩やかに増加している。また、個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。

以上のような最終需要のもとで、生産は一部になお弱さを残しつつも、緩やかに回復している。このほか、雇用・所得は、着実な改善が続いている。

なお、企業の景況感をみると、製造業、非製造業ともに改善している。先行きは非製造業を中心に慎重にみる先が少なくない。

2 鉱工業生産指数 (季節調整済指数) の推移



※上記指数は、長野県鉱工業生産指数(長野県企画振興部)、鉱工業生産指数(経済産業省)を基に産業政策課で算出したものである。